

【パブリック・コメント手続の実施概要】

1 意見募集の概要

- (1) 意見の募集期間 令和3年4月26日(月)～令和3年5月31日(月)
- (2) 周知方法 令和3年4月20日号・5月5日号・5月20日号市報及び市ホームページ, 市ツイッター
- (3) 資料の閲覧場所 市役所5階企画経営課, 公文書資料室, 各図書館・各公民館・各地域福祉センター, みんなの広場(たづくり11階), 市民活動支援センター(市民プラザあくろす2階), 教育会館1階, 神代出張所
- (4) 意見の提出方法 氏名, 住所, 御意見を記入し, 直接又は郵送, FAX, Eメールで市役所企画経営課まで提出
※資料の閲覧場所に設置する意見提出箱への提出も可

2 意見募集の結果概要

- (1) 意見提出件数: 44件(11人, 1団体)

<提出意見の内訳>

- 「計画策定の必要性と背景」に対する意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・6件
- 「計画の構成・性格」に対する意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・2件
- 「参加と協働による次期総合計画の策定」に対する意見・・・・・・・・・・8件
- その他 個別の課題に関する意見等・・・・・・・・・・・・・・・・・・28件

- (2) 意見の概要と意見に対する市の考え方 別紙のとおり

【意見の概要と意見に対する市の考え方】

1 計画策定の必要性と背景

案	No	御意見等の概要	市の考え方
1ページ26行目	1	<p>【要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回調布市が公表された「総合計画策定方針」の「1. 計画策定の必要性と背景」の中で、市を取り巻く社会環境に関する記述について、数々の重要課題がある中で、「近年の気候変動に伴い激甚化・頻発化する風水害」を最初に挙げている点を歓迎いたします。 ・第6次調布市総合計画が、気候危機から市民の命と財産を守り、また、生存の危機に脅かされることのない未来を次世代に手渡すことができる内容になるよう、計画策定に関与されるすべての皆様にご尽力いただきたくお願い申し上げます。 <p>【背景・理由】</p> <p>2019年の台風19号によって調布市でも多くの家屋が浸水し、市制施行後初めて避難勧告を発令して6,000人以上の方が避難所に避難しました。気象庁は、地球温暖化によって台風19号の際の総雨量は11%増加したとの研究結果を公表し、今後、地球温暖化に伴い、大気中の水蒸気量が増えることによって、猛烈な台風や豪雨などの異常気象の頻度も高まると警鐘を鳴らしています。</p> <p>気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の報告によれば、世界の平均気温の上昇を産業革命前と比べて1.5℃以内に抑えることが人類の生存にとって極めて重要であり、それを実現するには、世界全体で二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を2030年までに2010年比で45%以上削減し、2050年までに「実質ゼロ」にしなければならないこと、早ければ2030年頃に気温上昇が1.5℃に達してしまうこと、既に温暖化に歯止めがかからなくなる臨界点を越える現象が起き始めていることなどが示されています。</p> <p>新型コロナウイルス感染症への対応も待ったなしですが、気候変動対策も同様に待ったなしの状況です。</p> <p>昨年10月26日に菅内閣総理大臣が所信表明演説において、日本が2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現をめざすことを宣言しました。菅総理は、「2050年カーボンニュートラルへの挑戦は、日本の新たな成長戦略」だと言っています。また、菅総理大臣は、本年4月22日に開催された地球温暖化対策推進本部において、2030年に向けた温室効果ガスの削減目標について、政府の地球温暖化対策推進本部の会合で2013年度に比べて46%削減することを目指し、さらに、50%の高みに向けて挑戦を続けていくと表明しました。</p> <p>東京都では、国に先駆けて、2019年5月に小池都知事が2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを宣言しましたが、更に、本年1月27日には、2030年までに温室効果ガスを2000年比で50%削減（2013年比換算では55.4%削減）することや、2030年までに再エネ電力の利用割合を50%まで高めていくことを表明しています。</p> <p>調布市では、令和3年第1回市議会定例会において、長友貴樹市長が脱炭素社会の実現に向けて、「2050年までに二酸化炭素排出を実質ゼロ」にする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを表明し、また、4月16日に調布市と調布市議会が共同で、脱炭素社会の実現に向けて「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ」にする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言しました。</p> <p>この宣言は非常に素晴らしいものですが、宣言を宣言だけに終わらせずにこれを実現することが、市民の命と財産を守り、生存の危機に脅かされることのない未来を次世代に手渡すことに繋がります。</p> <p>一方、現在の社会はあらゆる場面において化石燃料が使われており、宣言の実現には多くの困難が伴うことが想定されます。これは、市役所においては環境部だけの問題にとどまらず、全ての部署がそれぞれの業務・事業に脱炭素/カーボンニュートラルの視点を取り入れる必要があります。そして、市役所も市民も事業者も、限られた時間の中で一丸となってこの問題に取り組まなければ手遅れになりかねません。</p> <p>第6次調布市総合計画の策定にあたっては、市役所の全部署、市民、事業者が一丸となって、気候危機から市民の命と財産を守り、生存の危機に脅かされることのない未来を次世代に手渡すことができるようにするにはどうすれば良いか、という観点からのご検討を賜りますようお願い申し上げます。</p>	<p>（仮称）第6次調布市総合計画策定方針（以下「策定方針」という。）では、計画策定の必要性と背景として、従来からの課題の一つとして、「近年の気候変動に伴い激甚化・頻発化する風水害や震災対策」を挙げております。市は、令和元年台風第19号の経験や令和2年以降の新型コロナウイルスの感染拡大により、市民の安全安心の確保及び危機管理の重要性に対する認識をより一層深めました。そのため、こうした自然災害や感染症への対策を、次期総合計画の一つの重要なテーマと捉えております。</p> <p>併せて、次期総合計画策定に当たっては、ゼロカーボンシティの実現に向けた取組を位置付けた調布市環境基本計画（R3～R7）との整合を図りながら検討を進めて参ります。</p>
全般	2	<p>○今後も温暖化やウイルス感染など、前例のない災害の起きることも予想される。</p> <p>見通しを持った計画を立てると同時に、状況によって柔軟に見直しができる体制も必要である。</p>	

1ページ11行目	3	P.1 1 計画策定の必要性と背景 に記載の下記の内容に賛同します。 ○(2個目) 現行計画においては、東日本大震災の経験を踏まえ、災害に強いまちづくりをはじめ、市政の第一の責務である安全・安心の確保や市民生活支援に継続的に取り組む事を基調とした。 ○(6個目) 近年の気候変動に伴い激甚化・頻発化する風水害や震災対策、(中略) 中心市街地の基盤整備及び各地域におけるまちづくりなど、従来の課題は新たな局面を迎える。 ○(P2: 4個目) 防災・減災対策との横断的連携により推進する施策については、フェーズフリーの考え方を含む多角的な視点から検討するなど、柔軟な考えを取り入れて検討していく必要がある。	(仮称)第6次調布市総合計画策定方針(以下「策定方針」という。)では、計画策定の必要性と背景として、従来からの課題の一つとして、「近年の気候変動に伴い激甚化・頻発化する風水害や震災対策」を挙げております。市は、令和元年台風第19号の経験や令和2年以降の新型コロナウイルスの感染拡大により、市民の安全安心の確保及び危機管理の重要性に対する認識をより一層深めました。そのため、こうした自然災害や感染症への対策を、次期総合計画の一つの重要なテーマと捉えております。
全般	4	○調布市の人口は近々では増加傾向であるが、その先縮小することが見えている。 その先の見通しも含め、将来世代に負担とならない計画とする。	現在の将来推計(平成30年3月推計)では、今後10年以内に人口のピークを迎えることを推計しています。次期総合計画の策定においては、令和3年度に実施する将来人口推計を基本として検討を進めて参ります。次期基本計画の策定においては、人口推計も参考に、市の財政の今後を見通す中で、財政フレームを検討して参ります。
2ページ目の18行目~24行目	5	「SDGs」という用語自体がわからない人も多いため、説明文に加えて、あの17の共通目標のカラフルな表をそのまま貼り付けるとよいと考えます。「フェーズフリー」も同様にわかりにくい用語なので、説明文に加えて具体例を一つ書くとよいのではないのでしょうか。	用語の解説について、より市民の皆様にご理解いただけるよう、工夫いたします。
全般	6	主にマクロの視点からの記述だけである。 調布市民がどのような未来を志向しているかというアプローチが欠けている。 調布市・市民の現状の問題点、あるいは、第5次調布市総合計画の進捗、PDCAによる見直しもベースにすべきである。	策定方針において、次期総合計画の策定に当たっては、検討の初期段階から、様々な機会を捉えた市民意見の募集と反映など、広範かつ多様な市民参加の機会を積極的に確保することとしており、公募等による市民が参画する「基本構想策定推進市民会議」等において、市民とともに、調布市の未来を展望して参ります。また、現行計画においても、行政評価による計画・行革・予算が一体となったPDCAマネジメントサイクルを活用し、計画に位置付けた各施策・事務事業の進行管理を行って参りました。次期総合計画策定に当たっても、こうしたこれまでの総合計画に基づくまちづくりの成果を基盤としつつ、今後の市政を取り巻く社会潮流を踏まえ、検討を進めて参ります。

3 計画の構成・性格

案	No	御意見等の概要	市の考え方
(2) -ア- (ア)	7	「今後10年以内に人口のピークを迎えることを・・・」のあたり、具体的に人口が何人になる予測なのか、数値を書いておいた方がわかりやすいと考えます。読んでいて疑問に思う人は多いと考えます。	平成30年度に実施した人口推計の結果を基に、記載内容を変更いたします。
全般	8	具体的な計画内容が書かれてないが、多くの開発案件、再生案件があるはずだ。それらを基本計画などに先送りして、この総合計画を抽象的なもので終わらせるのは時間と労力と費用の無駄である。	策定方針は、次期総合計画を策定するため、基本的な事項を定めるものです。総合計画の策定に当たっては、開発事業などの街づくりの進展を踏まえ、検討して参ります。

4 参加と協働による次期総合計画の策定

案	No	御意見等の概要	市の考え方
全般	9	○調布市として、市民参加を推進しようとしていることに賛同します。	策定方針では、次期総合計画の策定に当たっては、検討の初期段階から、策定過程の積極的な情報発信、意識調査・アンケート、説明会、タウンミーティング、ワークショップ、パブリック・コメント手続等、様々な機会を捉えた市民意見の募集・把握と反映など、広範かつ多様な市民参加の機会を積極的に確保することとしております。
全般	10	○市民参加の大事なポイントは、最初の企画段階で市民を巻き込むという事です。民間などが仕上げた案に一部意見を聞くという形では、市民と協働作業とはいえません。それでは、市民は自分たちのまちづくりとして意識できないでしょう。どんな「まち」にしたいかという基本づくりを、市と市民と専門家も交えながら、協議することから始めることが大切だと思います。協議のメンバーを市民の無作為選出者から希望者を募り、男女・年齢、職業などにより選出するという方法をとっている自治体（札幌市等）もあります。こうした、実質的に市政に生かされる市民参加を市の職員の方に先導してほしい。	そのため取組として、公募等による市民及び職員で構成し、調布市総合計画策定推進委員の参加・助言などのもと、基本構想の策定に向け、市民と市の協働により検討する組織として設置する基本構想策定推進市民会議を運営していくことで、基本構想の策定過程を通じた参加と協働のまちづくりを推進して参ります。また、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ、オンライン会議やコミュニケーションアプリの活用など創意工夫を重ねながら、次代を担う若い世代をはじめ、幅広い年代等からの意見の把握に努めて参ります。
全般	11	○時間はかかっても、結論ありきでない、市と市民が共に創り上げるまちづくりであってほしい。	
	12	どういった計画を策定するかは、それを策定するメンバーによって決まる。この計画の主人公であるべき市民の参加の場が少ない。基本構想策定推進市民会議は、市民だけでなく職員（調布市総合計画策定庁内検討プロジェクト・チームもいるし、調布市総合計画策定推進委員の参加や助言まである。（仮称）産学間連携会議には、市民がいないのが問題。市民参加がどこまで本物か、実質官主導の単なるアリバイ作りか、そのメンバー構成や公開度、フィードバック度合いにかかっている。もう少し、市民参加をきちんと保証する体制にすべきである。	いただいた御意見は、市民参加と協働による計画策定を目指すうえで、具体的な市民参加手法の検討や情報発信の際に参考とさせていただきます。
	13	公募のみですと、モノを言いたい市民（直接の利害関係を持つ市民）だけが参加し政策に影響を与えるようになるため、サイレントマジョリティからも、対極的な観点で意見・民意を収集できるよう措置を講じてください。	
	14	調布市には、様々な専門家が住民として居住しています。たとえばデジタル化も調布市の課題の1つですが、デジタルに関する非常に高度な知見をお持ちで、市や社会に貢献したいと考えておられる方もお住まいです。ところが中々そのような方と市政の接点がありません。そうした方々とうまく繋がり、活かせるような措置を講じてください。	
全般	15	○専門的知見は必要だと思うが、企業や専門家に丸投げでは、本当に市民の求めるまちづくりにならない。あくまでも、市が要となり、計画を進めるという基本は貫いてほしい。	次期総合計画の策定に当たっては、基本構想策定推進市民会議や、ワークショップ等を通して、御参加いただいた市民の皆様から、御意見をいただくとともに、総合計画策定推進委員からの意見聴取を行いながら、市民と市が協働して計画の策定を進めて参ります。
	16	我が国が批准し、調布市にも適用される「たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約」5条3項および同ガイドラインにおいては、行政に対するタバコ産業・販売関係者の干渉を防止しなければならないことが定められています。したがって、参加と協働の対象には、タバコ会社や、タバコ販売事業者、タバコ販売組合関係者などの参画を防止できるよう措置を講じてください。調布市受動喫煙防止条例の市民検討委員会でも、全国のタバコ販売関係組織の幹部がその立場を隠して参加し条例が骨抜きになるよう発言していました。	市民参加においては、多くの方から幅広い御意見を伺えるようにすることが重要と考えています。今後も引き続き、必要に応じて、一定の要件を設けた市民参加手法も含め、参加と協働によるまちづくりを進めて参ります。

6 その他 個別の課題に関する意見等

案	No	御意見等の概要	市の考え方
	17	<p>○近年、PFIとかPPPとか言われるが、官民連携の官の存在がどんどん小さくなり、官に自治体の姿が見えなくなっているのではないかと心配している。民に引きずられることのないよう、官が主体性をもって進めてほしい。エールである。</p>	<p>多様化・複雑化する社会課題に対応していくため、多様な主体との連携は重要な視点と考えております。 次期総合計画の策定に当たっては、基本構想策定推進市民会議や、ワークショップ等を通して、御参加いただいた市民の皆様から、御意見をいただくとともに、総合計画策定推進委員からの意見聴取を行いながら、市民と市が協働して計画の策定を進めて参ります。</p>
	18	<p>クリーンな街として市民の健康と清潔な街並みを実現する。 喫煙指定場所以外での禁煙の義務付けと違反者に対する罰金の条例を定める。 (市内歩行喫煙の禁止を含む) 一 歩行喫煙者の殆どが自分の体の外側に火のついた煙草を指に挟んで歩いているが、この高さは子供の目の高さであり極めて危険であること。 一 他の歩行者に受動喫煙をさせており、非喫煙者の健康を阻害していること。 一 未だに吸い殻のポイ捨てが横行し、街並みの清潔感と美観を損ねていること。</p>	<p>「(仮称)第6次調布市総合計画策定方針(案)」は、新たな総合計画を策定するに当たっての基本的な事項を定める方針であり、新たな総合計画における各施策の方向性や重要課題への対応など具体的な計画の内容は、今後、広範かつ多様な市民参加を図りながら、検討を進めていくこととしております。</p> <p>今回いただいた個別課題への具体的な御意見については、今後の具体的な検討における参考とさせていただきます。</p>
	19	<p>安全な交通環境を作り、最近、増加している自転車事故を撲滅する。 自転車運転は道路交通法上、車両に定義されいながら、運転者には一切交通ルールの教育と遵守義務を課していないし罰則・罰金もない現状を改善し、歩行者、自転車、自動車の三者の安全運行を高めることを条例に定める。 一 小学校3年生以上の自転車運転者に対し、最低限の交通ルール(曲がり角での左右確認、一時停止の励行、逆走の禁止、横断歩道左側通行の励行等)の教育と理解度試験と試験合格証の発行と合格証の携帯義務の付与をすること。 一 「最低限のルール」に違反したものの罰則を定めること。 一 街並みの美観を損ねる違法駐輪に対する罰則を定めること。</p>	
	20	<p>【第6次調布市総合計画】とは、今後の市政の大方針を策定するものと認識しますが、私からは1点、縦割り行政の弊害を指摘させていただき、解決策を盛り込んでいただくようお願いしたく存じます。 具体的には、現在の河川法上、河川の自然環境の保全管理が東京都建設局河川課の管轄となっており、調布市環境局や緑と公園課等の【調布市緑の基本計画】の運用を担う組織と分断されてしまっています。 その結果、自然環境保全の素人である北多摩南部建設事務所が生物の生態系を破壊してしまったという不幸な結果を生んでしまっています。(※添付資料参照)</p>	
	21	<p>デジタル社会推進は不可避であるが、負の側面、つまり、管理社会、監視社会の問題にも目を向けるべきである。</p>	
	22	<p>◎気候変動対策が充実の調布市にしてほしい ●NDCを62%へ ゼロカーボンシティ宣言をご決断いただき感謝致します。今後は長野県に続き、科学の声に従って2030年目標の引き上げを強くお願い致します。この春、桜の開花期間は短く、梅雨も異様に早いこと、市民も肌で感じているかと思います。子ども達へ美しい四季の日本を残したいです。 ●再生可能エネルギーの推進・断熱家の徹底 電気を再エネに切り替えることが、最も簡単な「市民にできること」だと考えます。まずは調布市全体の再エネ普及率のデータ開示。再エネの普及を市民への呼びかけてほしいです。そのためのボランティアなら参加したいです。 ●大量消費社会にNO! 選べるデジタル化へ あまりにも使い捨てのプラスチック、無駄な書類が多い世の中に感じます。調布市もデジタル化の流れがあるかと思います。何でもかんでもデータで、というのも情報漏洩のリスクや人との繋がりが気薄になるようで寂しい気持ちもありますが、それ以上に大量のゴミを思うと心が痛いです。市のセミナー等に参加すると大量のチラシがビニールの袋に入ってきます。自分で情報を選べる。欲しい情報のみチラシをいただく。もしくはネットで見るよう促すなど、ゴミを減らせる工夫はまだあります。また、調布市のゴミアプリは素晴らしいです。あのような形態で市報アプリも開発して欲しいです。正直、紙では読みません。紙の市報は希望者だけ各自治会から配るなど、無駄の無い社会を希望します。 また、わざわざ新しいノベルティグッズを準備するのではなく、地元産のお野菜やコロナ禍で困っている店舗のもの、地方伝統工芸品などの配布を希望します。これ以上石油由来のプラスチックを新たに生み出さない事は今後目指す脱炭素社会への一歩だと考えます。 ●コンポストの設置</p>	

	<p>23</p> <p>◎差別の無い調布市にしてほしい ●新型コロナウイルス感染症に関する同調圧力を撲滅 マスクは任意であり、ウイルスを防ぐものではありません。にもかかわらず、教育現場での強要は児童虐待に感じます。本人の意思だとしてもそこには必ず同調圧力があるはず。マスクから鼻を出している人がいたら「ちゃんと鼻までつけなさい」と言うか「苦しいの？大丈夫？無理につけなくて良いんだよ」という言葉を選ぶのか。子ども同士監視させるような社会を作るかどうかは大人のその一言で決まるのです。コロナで亡くなる子どもはほほいませぬ。なのに自殺は増える一方。まずは恐怖を煽る防災無線をやめませんか？屋外で一人歩いているのにマスクをつけている老人を見るたび「調布市は市民を殺したがつているのか？」と不安になります。</p> <p>●LGBTフレンドリーなシステム作りと本当の理解 当事者の皆さんに何うとかなり認知はされ始めたのではないかとと思うが、やはり本当の意味での理解ができていないため、何かシステムチェンジする時に変なルールが出来、余計に当事者を苦しめることになると思います。 雇用の機会やトイレ、制服など問題など様々あると思いますが、教育現場で積極的に講演など依頼し、大人が理解をすること。子どもたちへの声かけを学ぶことが重要と考えます。</p> <p>●アニマルライツ・ヴィーガンへの理解、普及 動物への虐待は賛成ですか？ヴィーガニズムの理解はこの一言から始めると思います。 特別講演を依頼したり、道徳の授業へ盛り込むべきだと考えます。 八王子でヴィーガン給食が実施されたようなので記事を貼っておきます。 https://www.facebook.com/permalink.php?id=445319479264441&story_fbid=1248446815618366 動物を食べたく無いと考える人にとって、給食は人権侵害にあたると思います。</p>	<p>「（仮称）第6次調布市総合計画策定方針（案）」は、新たな総合計画を策定するに当たっての基本的な事項を定める方針であり、新たな総合計画における各施策の方向性や重要課題への対応など具体的な計画の内容は、今後、広範かつ多様な市民参加を図りながら、検討を進めていくこととしております。</p> <p>今回いただいた個別課題への具体的な御意見については、今後の具体的な検討における参考とさせていただきます。</p>
	<p>24</p> <p>◎学校給食への要望 ●地産地消の促進 ●加工食品の軽減 ●日本食・菜食を推進 ●牛乳の廃止 ●ヴィーガン児童への配慮 ●オーガニック給食を促進</p>	
	<p>25</p> <p>◎空き家 ボランティアを募り、家を綺麗にするお手伝いをしたい。 空き家を積極的に活用し、リモートワークの促進、地域活性、学童クラブや不登校児の支援、子育て支援、自殺防止など、有効活用できると良い。</p>	
	<p>26</p> <p>◎地下水 基準値の20倍以上の有害化学物質が含まれていると伺いましたが、市民への説明は十分なのでしょうか？私も最近知ったばかりで不勉強で恐縮ですが、人体への影響、地下水の使用状況（どの地域の住民が使用しているのか？）の情報開示、その保証など検討ください。</p>	
	<p>27</p> <p>東京都の感染増加から、stay home、IT、Green推進を一挙に促進するという方式の陰で、2013念ごろから、国、都、多摩全域に広がっていると見られる、不正。DNSサーバーの自然気候変動他、何らかの不具合が多発。又、個人情報の漏洩後の正常化に、東京都内と多摩地区で格差、時間差、遅延が見られ、過去のクレジットカードによる二重、三重請求も、LINEの拡散によるものか、Korea、China、中南米等、企業が委託した海外への流出によるものか。ゾンビデータ、データ加工による詐欺もまだ安全面では完全ではなく、地域内被害救済および被害者のトラウマ的反応はまだ解消されたとは言えず、チーフのキャラでおなじみの有識者によるさらに詳細ケーススタディーの暮らしの豆知識での手引書は継続。市民のニーズに応じて、自治会配配布、各市内施設などから市民に行き渡り、安心安全なIT、Green社会の形成、青少年育成、高齢者にもわかりやすい安全を推進して政策と伝達の正確さに努めていくことも大事な最近の課題だと思います。</p>	

	<p>28</p> <p>日頃大変御苦勞様でございます。 駅前広場のワクチン施行が終了いたしましても、あの建物はそのまま存続して置いたら？と私はと私は思うのです。 理由は自然災害が多く起きる今日、又、予期せぬ事態が何日出来るかも知れないからです。 しかし、今のあのままの外見ですと、折角美しい広場が格下されてしまうのも事実でしょう。 そこで素人の然も超高令者の私が差し出がましいのですが周囲に自然の篇か人工ツタを品良く張り巡らせ屋根も三角屋根状にして色彩も上品な色にし、外気の温度計でも設置しますとモダンになって周囲の耳目にもよく冴えるのでないかと思えます。皆様方で御検討なさって下さいませ。</p>	<p>「（仮称）第6次調布市総合計画策定方針（案）」は、新たな総合計画を策定するに当たっての基本的な事項を定める方針であり、新たな総合計画における各施策の方向性や重要課題への対応など具体的な計画の内容は、今後、広範かつ多様な市民参加を図りながら、検討を進めていくこととしております。</p> <p>今回いただいた個別課題への具体的な御意見については、今後の具体的な検討における参考とさせていただきます。</p>
	<p>29</p> <p>①調布市は2020年SUUMOの住みたいまちランキング100の51位。1位横浜、大宮4位、新宿7位、鎌倉13位、船橋21位、立川23位、三鷹33位、町田49位、松戸53位、府中82位、神楽坂83位。 ②日本は、2020年度幸せ度62位。OECD加盟国中最下位！ ③日本の課題は、SDGsの17項目全てが当て嵌まること。特に、貧困、医療アクセス、教育機会、ジェンダー平等、表現の自由等が課題。 ④調布市は、財政健全だが、サービスメニューと品質は、府中や三鷹に見劣りするのでは。例えば、府中には保健所があり、各町内会に集会所、体育館、テニスコートがある。府中市美術館、ウィーンホール、郷土博物館は立派。三鷹のスバル体育館や大沢総合グラウンド、シブリミュージアム、国立天文台も立派。 ⑤然し、調布市には以下のユニークなinstallationが存在する。 調布飛行場、味の素スタジアム、武蔵野の森競技場、西町サッカー場、ユニークな大学群（電通大、桐朋音大、白百合女子大）、深大寺（国宝釈迦如来綺像/蕎麦屋/鬼太郎茶屋）、神代植物園、JAXA、京王閣など。 ⑥調布にないのは以下。 ・美術館 ・ミュージカルやOperaのフルパフォーマンスが出来るシアター ・博物館 ・スケボーアリーナ ⑦提案 ・グリーンホールを立て替えて、音楽ホール、劇場、美術館、博物館を収容した総合文化芸術センターにする。 ・シドニーにオペラハウスが無ければ、シドニーの魅力は無い！（シドニーのイメージをオペラハウスが象徴）デザインはOve Arupの傑作！ ・調布には安藤忠雄事務所設計のせんがわ劇場があり、仙川の街の文化レベルを高めしている。 ・然るに、調布駅前開発には統一された美的センスが欠落しており、文化芸術スポーツと交通のハブ、農産地としての調布市を象徴するモニュメンタルな建築が無い。 ・隈研吾事務所監修のつつじヶ丘駅舎は、木を美的に配置したシンボリックな建築で、深大寺への玄関口を象徴している。 ・結論、グリーンホールの立て替えの機会に調布市の美とパワーのシンボルとなる多摩川と富士を望むタワー建築のデザインを打ち建てること。 Opex低減のため、商業テナントを招くこと。 一流（出来れば世界の）の建築デザイナーを使い、市民のアイデアを募り取り入れ、都庁の様な前近代的な'威厳'を排し、芸術的で国際性も取り込んだモニュメンタルなタワーにすること。 ARUP事務所を誘致するのもgood ideaかと。 スペインESバスク地方の美食、美術、アスレチックBilbao、リバーサイド新市街、グッゲンハイム美術館の町、ビルバオとの姉妹都市関係樹立なども、調布の国際性の発展のための選択肢と考えます。 バスク地方野本サン・セバスチャンも姉妹都市の対象として、調布市にフィットすると思います。世界4大映画祭は、ベネチア、カンヌ、ベルリン、サン・セバスチャン。</p>	

	32	<p>【調布市地域催事】 1月：初詣（深大寺、布田天神社） 市内七福神巡り 1月：ダイヤモンド富士 2月：調布映画祭シネマフェスティバル 3月：だるま市（深大寺） 4月：野川桜ライトアップ 4月～5月：神代植物公園バラフェスティバル 7月：鬼灯市（深大寺） 8月：精霊流し（野川） 8月：よさこい祭り 9月：秋の例大祭（山車/布田天神社） 8～10月：調布市花火大会 9～10月：神代植物公園バラフェスティバル 12月：ダイヤモンド富士</p> <p>PLUS：催事 in 味の素スタジアム</p> <p>新しい発見がないと、何度も来ないよね？</p>	<p>「（仮称）第6次調布市総合計画策定方針（案）」は、新たな総合計画を策定するに当たっての基本的な事項を定める方針であり、新たな総合計画における各施策の方向性や重要課題への対応など具体的な計画の内容は、今後、広範かつ多様な市民参加を図りながら、検討を進めていくこととしております。</p> <p>今回いただいた個別課題への具体的な御意見については、今後の具体的な検討における参考とさせていただきます。</p>
	33	<p>【調布市観光政策】 神代植物公園 深大寺 グリーンホール ゲゲゲの鬼太郎 映画ロケ地振興 味の素スタジアム 調布飛行場 etc 観光マップ アピールポイントは“点”での説明ばかり</p> <p><疑問点>車（電車）で来て目的地に行き、そのまま帰って欲しいのかな？</p>	
	34	<p>【子どもの成長を見守る社会】 -貧困をなくそう- 不登校・不学（実際にはカウンセラー室、保健室で過ごす隠れ不登校）問題への取組</p> <p>学校での課題 × 家庭での問題 × 自分との葛藤 （先生・友達との亀裂） （両親の不仲など） （自分の個性・障害）</p> <p>不登校・不学は、いずれの一つでも引き金となる！ 更に、複数の原因が入ると複雑になり本質的な解決に結びついていないケースが多い。 子どもの自主性を尊重しつつも、その背景を理解した善後策を組むことが非常に重要！</p> <p>その子どもに合わせたキッカケを家族と一緒に見つけ出せるかが、課題</p> <p>【現状の課題】 これまでの市行政の取組みの限界。 微妙な問題ゆえに慎重に取り組む必要があるが、 表面的な対応で、本質に入ろうとしていない。 できる範囲で解決策を増やすには！ ⇒子どもの潜在的な力を引き出すチャンスを増やすしかない！ 学校だけ・家庭だけではできないことを支援できるのは、行政</p> <p>行政・学校・家庭の連携が重要 尖がった才能を伸ばすチャンス 学校以外で学びのチャンス 家族以外の人と話せるチャンス 自分の世界で過ごせるチャンス</p>	

	35	<p>【産業と技術革新の基盤を作ろう】 大手勧誘ではなく、地場で創業する活力産業労働センター：旧来的な取り組み（時間と相手が決まっている！）</p> <p>オープンイノベーション 型にはまった仕組みではなく、環境の提供が新しい事業を作るのに重要！ 例）下北沢 SOHO&店舗「BONUS TRACK」</p> <p>会社を作ったことのある経験者は、結構います！ 中小企業診断士である必要は無い 大切なのは、色んな意見を広く話せるなかで、自由に醸成できる環境。 ⇒最後は、そのネットワークの中で必要な人（税理士、司法書士、会計士等）を決めていく ⇒後継者問題で困っている老舗の支援が進んでいるケースもある。 キッカケを如何に作るかが重要！</p> <p>農業（田畑）の重要性 都心から20kmでありながら、無人店舗の数は非常に多く、有機農法など現在の農業に取り組みされている！更に、ブルベリー、イチゴに加え、マンゴーなど新しい取組も！ ⇒地産地消ができるレストランなど農業を生かした取組も重要</p> <p>若者が起業をしたくなる街 ・可能性を検討できるキッカケが重要 ・変わりを求める環境 ・敷居や仰々しさは、何のプラスにもならない ・目に見えるきっかけ</p>	<p>「（仮称）第6次調布市総合計画策定方針（案）」は、新たな総合計画を策定するに当たっての基本的な事項を定める方針であり、新たな総合計画における各施策の方向性や重要課題への対応など具体的な計画の内容は、今後、広範かつ多様な市民参加を図りながら、検討を進めていくこととしております。</p> <p>今回いただいた個別課題への具体的な御意見については、今後の具体的な検討における参考とさせていただきます。</p>
	36	<p>【歩いて過ごせる街】-住み続けられる街- <住民も観光客も通える街> ・鎌倉市：小町通りをはじめ駅から各お寺に向けて通りが栄える ・川越市：旧街並みを生かし、駅前チェーン店街と分離した街づくり ・・・ひとつの切り口</p> <p>・金沢市：地元商店街、市場を活用した街づくり ⇒地元の個人商店で栄える街並み</p> <p>調布市内商店街 ・商店街により情報発信もマチマチ 商店街加盟店か非加盟店 ・新規のお店は、非加盟店のケースもあり、商店街マップに非掲載 ・旧来の商店街の運営が適切かどうか？ 歩いて楽しい街を考えよう！</p>	
	37	<p>【調布市のインフラは、素晴らしい】 ・図書館 ・福祉向け：地域福祉センター ・高齢者向け：高齢者人材センター ・こころの健康センター ・郷土資料館 etc</p> <p>地域福祉センター、図書館など市施設を半径1 kmので括ってみると市民の居住地から、少なくとも徒歩圏に市行政施設が、一つはありそう！</p> <p>改善できる点はないでしょうか？ ・事前申し込みでないと使えない ・目的が限定されている ・広く知られていない</p> <p>いっそのこと、外部委託してはダメですか？ ⇒若者たちに、一つひとつの施設の運営を任せる。 条件：老人の憩いの場所 不登校学生が自由に通える SOHOの拠点となる場所</p> <p>住んでいる人が歩いて生活できる環境を考えることで、街並みが変わる。 ⇒商店街が活性化 ⇒観光客も歩いて楽しめる店もできる</p>	

	<p>【住み続けられる街】-壊すのではなく、生かす開発- 歩いて安心な街づくり！ 駅前だけでなく、広がりのある街づくり！ ⇒ 点の発展だけでなく、線に！面に！ 図書館、福祉センターなど市施設の再利用 ・民営化による高齢者など寛ぎの場・SOHO施設化 ・不登校児童が自分の個性を伸ばせる場所 （米国Summit Schoolを超える環境提供）</p> <p>観光資源へのアクセスは、徒歩でも楽しめる街づくり</p> <p>38 既存産業と新規産業が共存できる街づくり ・農家（一次産品）xレストラン（3次産業）=体験型産業</p> <p>など、これまで調布市で培われてきた産業を活性化できるシステムを構築し、連続的な成長を目指す市になっていただきたい。</p> <p>共通のプラットフォームを市民の健康・福祉、観光・産業成長に！</p> <p>つつじヶ丘から柴崎は、個人店舗が今もメインで、地味ではあるが面白い街並み。 このエリアの発展の進め方が非常に重要と感じる。</p>	<p>「（仮称）第6次調布市総合計画策定方針（案）」は、新たな総合計画を策定するに当たっての基本的な事項を定める方針であり、新たな総合計画における各施策の方向性や重要課題への対応など具体的な計画の内容は、今後、広範かつ多様な市民参加を図りながら、検討を進めていくこととしております。</p> <p>今回いただいた個別課題への具体的な御意見については、今後の具体的な検討における参考とさせていただきます。</p>
	<p>39 発展して欲しい街並み事例 調布駅から深大寺までの徒歩ルート（お店を楽しみつつ行き来する） 途中、個人がされているイタリアン、かき氷屋さん、お蕎麦屋さんなどがあるが、深大にぎわいの里も含めて、もう少し店舗ができる余地は多いと思う。</p> <p>多摩川河川敷+角川大映、日活撮影所 彫刻のある散歩路、多摩川沿いには多くのスポーツ施設もあるが、飲食店は無い。 また、角川大映のカフェも週末は、休業であり、決して観光は意識していない！ 唯一の薪窯ピッツアしかない。</p> <p>調布飛行場周辺 大沢の三鷹エリアにて飲食店はあるが、調布エリアにはない。 街づくりのコンセプトの差が感じられる。</p> <p>飛田給から野川公園：味の素スタジアム近辺まではチェーン店などあるが、その先は、公共施設とグラウンドで人の流れが途切れている。 （徒歩からバスや車となり、歩いて遊ぶ街並みになっていない！） 三鷹に入ると蕎麦屋さんなどある。</p> <p>仙川：チェーン店と個人店が入り乱れている。 ただ、チェーン店が多い通りと一本入った個人商店の多い通りとできつつある。</p> <p>多摩川団地・神代団地など再開発エリア 染地の団地エリアは、今後再開発が進んでいくと思われませんが、その周辺に個人商店も含めて、歩いて過ごせる住居エリアが整って欲しい。</p> <p>深大寺そば 門前などエリアを厳しく絞り、商標を守ることは重要。 ただ、門前の活性化のため、“蕎麦”に限らない活性化策を、家屋を生かして色々と取り入れて頂きたい。</p>	

	40	<p>日本全体では人口減少社会に入ったが、首都圏、しかも都心への人口集中傾向が進み、調布市においても人口が増加している。そのことは、宅地開発や中心市街地などが進んでいることであり、自然や緑の環境や広場など子供の生活の場が減少している。この世界的な歯止めのない開発志向が今日のコロナ禍を将来したことにもつながる。そのことについての言及がないことが大きな問題である。</p>	<p>「(仮称)第6次調布市総合計画策定方針(案)」は、新たな総合計画を策定するに当たっての基本的な事項を定める方針であり、新たな総合計画における各施策の方向性や重要課題への対応など具体的な計画の内容は、今後、広範かつ多様な市民参加を図りながら、検討を進めていくこととしております。</p> <p>今回いただいた個別課題への具体的な御意見については、今後の具体的な検討における参考とさせていただきます。</p>
	41	<p>P1.-1.30 子ども・福祉分野における妊娠～子育て期にわたる切れ目ない支援、地域包括ケアシステムの構築の中で、一般的な、子ども、子育て支援は従来通りの計画で問題はないのかもしれないが、現実、問題が水面下にあり、計画上に考えていかなければならない課題が浮上してきていると思う。</p> <p>①女性は必ずしも結婚→子育て期→この過程を通る一生ではない(環境、遺伝子、薬の副作用、他諸事情により)1/5はシングル(男女問わず)の2030が予測されている。この弱者への福祉強化、ならびに、自主的につくられたヘルプカードの保持者への医療体制(コロナ禍同等の問題が今後もあるであろうという前提で、訪問診療、医師の救急におけるジェネラリスト医師の附則)の改善と人材(東京都では、従来の医療、十字に新たにヘルスケアサポーターの養成も加えている)</p>	
	42	<p>オリンピックや、大きな大会、感染予防のために施設が使用不可能となり、ここの環境、調査、評価事業も強化のNeedsが市行政～企業連携で、計画が必要と予測されるのではないかと。</p>	
	43	<p>地球規模の環境、保全、ユニバーサルデザインの考え方、老朽化の問題で、地下、下水道等の衛生を光ファイバー(先端技術)構想(2013、大学のベンチャーブラックネット、海外で成功事例あり)、大学での研究成果物が多く利用されていていく社会が望ましい。そのためのインカムゲインを社会全体で、戦略を考えていく未来が必要と考えつつあります。</p> <p>具体的には、現浅井、ENEOS(JXホールディングス)において、環境保全における童話の花束という参加型の本の出版事業を行っている。(全国学校長の協賛)こういった市民参加型での著作物を企業の独自、文化努力で、インカムゲインに変換していく社会の流れを作っていくことで、遅れがちな日本全体のコンプライアンス理念を高める意識啓発、企業メセナと福祉会計とキギョウ会計を共存するためのNPO組織の連携と、その品質承認を産学で検討していくことが2030への鍵ではないかと考えています。</p>	

第6次調布市総合計画策定方針(案)パブリックコメント
調布の将来像
～「みんなが笑顔でつながる・ぬくもりと輝きのまち調布」～

私は平成26年国領小学校から依頼されて学校コーディネーターとして活動に入る、一方、地域の「国領みんなの広場」(地区協議会)に、地元の厳島神社の地域担当、新生会自治会に関わって来ました。それぞれ問題を抱え市の所管・情報収集し、29年に教育委員会から表彰受けたのをきっかけに活動から離れ、パブリックコメント、タウンミーティングに参加、意見具申をしました。

多様化している中で様々な問題で課題は複雑化、困難化状況です。市民と行政、市民同士が助け合い、支え合い、つながり、知恵を結集して困難に立ち向かっていくことが重要です。地域活動は育っていない。②住まい方、働き方で組織ができていない。③組織間の連携はできない④組織の役割は高齢化⑤まちづくりの理解不足⑥地域運営組織の再編成課題等。

29年には福祉計画改正で「地域共生社会」が地域と共に歩む学校づくり「地域学校協働活動」がスタートし、まさに「タテ割り」事業です。

策定をするにあたって取り組んだテーマは「変革」でした。タテ割り行政の弊害です。一方、超高齢化、少子化、災害に強いまち、安全・安心の確保の市民生活支援に備えてまちづくりにあっては「変革」を実施して地域戦略を推進していきたい。

そのためには行政組織の「縦割り組織」と「地域活動の再編成」の取り組み、「地域戦略」を考えます。国の組織や事業の枠組みに沿った「タテ割り組織」を抜本的に見直し、生活者の視点から新たな行政課題や地域の運営の課題に対応できる再編成に取り組んでいく。

(2)計画の期間・性格
(ア)基本構想

- ビジョン:「支え合い」「つなぎ」「領域」
- 基本方針1、[市民の市政への参加の推進]
 - ①パブリックコメントについての進捗状況を知らせてほしい。②継続的な市民参加による政策形成の機会づくりを。③市民参加は、複雑化する社会の解決のためには、政策形成段階から市民と行政が共に考えることが必要です。④「新しい公共」の創造を目指して地域別展開。地域の課題を地域で解決していく
- 基本方針2、「市民のまちづくり活動の活性化」
 - ①地域の基盤を整備し、地域の活性化を推進して再編成を推進していく
 - ②参加しやすい対話や学び合いの機会の提供
 - ③企業の社会課題解決プラットフォームとの連携(CSRの協力)。

イ基本計画
(3)各施策分野の計画等

- 位置づけ：市民がお互いの人権を尊重し、協働して住み続ける魅力ある地域(区域)づくりを進め、方向性や実現に向けて目標を共有し取り組んでいく。
- 行政のあるべき姿：【変革】「縦割り」組織を「横割り」的に見直し、生活者・消費者の視点からの組織体制(横割り組織)の取り組み。
- 市民が目指すべき姿「新しい暮らし方」を考え地域を創る。
 - 目指す地域(区域)の姿の実現に向けて「互助を見つけ、互助を育む」
 - 【地域づくり】:地域の拠点(市の区域8区域)
 - 【人づくり】:地域の活動での推進役、ファシリテーターや地域でのリーダー、リーダーを支える活動者、運営担当、事務局。まちづくりアドバイザー制度の充実。
 - 【組織作り】:地域まちづくり協議会、まちづくり協働推進本部委員会
 - 【まちづくり】:「協働プロセスの重視型」の視点で、地域から生まれた活動を高めていく超高齢社会に向けた「地域共生社会」の形成。

44

「(仮称)第6次調布市総合計画策定方針(案)」は、新たな総合計画を策定するに当たっての基本的な事項を定める方針であり、新たな総合計画における各施策の方向性や重要課題への対応など具体的な計画の内容は、今後、広範かつ多様な市民参加を図りながら、検討を進めていくこととしております。

今回いただいた個別課題への具体的な御意見については、今後の具体的な検討における参考とさせていただきます。

◎「産学官連携会議」を通じて地域のまちづくりの指南役指導者としての展開を
①地域活動の指導者として【調布市友好協定7大学】との連携
「緑の清流と青空に恵まれた調布ベッドタウンの都市・調布、大学と連携した学
びの調布」包括協定をしている7つの大学は市の持つ財産である。④市民の知恵と
力を十分に生かし切ることで教育の未来に盛り込んでいきたい。⑤大学の存在を無
視してまちづくりをすることは地域の損失である。⑥地域社会との信頼関係を醸成
する。⑦電気通信大学、明治大学、桐朋学園、白百合女子大学、東京外国語大学、
東京慈恵会医科大学、ルーテル学院大学。
大学に期待する社会貢献活動：学生の地域参加、教育支援、生涯学習、地域医
療、地域との連携など生涯学習、地域課題に対応するもの等。社会貢献活動により
社会への関心を高めていきたい。「調布で生まれ、調布で学び、調布で育ち、調布
で住み続ける調布。」
②企業・社会への取り組みCSR活動社会貢献活動
地域での活動者は70歳以上が中心の中で、企業人は若い人との連携により様々
な形で指導、連携協力してこれの予測できない時代に備えて社会貢献、CSR活動を
期待したい。

4. 参加と協働による次期総合計画の策定
(1)参加と協働
1、求められる新しい地域コミュニティ、新しい地域組織、新しい地域と市の関
係づくり。
2.市民参加・協働についての「現状と問題点」の整理を実施する。
3【現状分析】(地域を知る、地域の市の町内会、自治会と区域内の地域組織の
課題)
地域組織:①加入率の低下②若い世帯や新しい転入者の参加③役員の高齢化④
顔ぶれは変わらない
4、地域と行政のパートナーシップの在り方。地域コミュニティと手をつなぐた
め行政の役割と仕組み

5、地域コミュニティの新しい形と市との連携の形
①市と地域組織の連携の在り方:同位置づけして行くか
6、行政組織の現状と課題①縦割りの行政の弊害②市の推進課の課題
7.「まちづくり協議会」について、今後の課題。